

# 前進 Zen Sh in

VOL. 23

所報タイトル「前進」は所内で掲げる

平成19年度の目標です。

発行責任者 / 小林 政氏

発行日 / 2007年5月1日



## ～新人研修～

平成19年4月25・26日の二日間の日程で『会計事務所職員のためのマナー研修』に新入所員の竹川・村中の両名が参加してきました。

この研修は千葉県長生郡にあるTKC出版研修センター『平成道場』で行われ、社会人の基本行動（挨拶・返事等）やビジネスマナー（接客・電話応対等）の修得を目的としています。



今後、この研修で得たこと・学んだことを生かし、業務に役立てていければと思います。

### 竹川侑里

最初に結論から述べると25・26日と2日間の研修を終えての感想は、とても楽しいものになりました。初めはもっと辛いものだと思ったのですが、グループのメンバーと親しくなったということもあり、共に努力する喜びを感じることが出来ました。研修では基本の姿勢や挨拶から始まり、名刺の受け渡し、お茶の出し方、電話の取り方などを学びました。講師の西澤先生には、グループで一つの事に真剣になって取り組み、一緒に達成感を味わうといった事を中心に教えて頂き、改めて仲間と協力する事の大切さを教わった気がします。今回の研修で学んだ事を、仕事をしていく上できちんと役立てていけたら良いと思います。

村中友理

今回のマナー研修で、講師の西澤先生がとても分かりやすく、挨拶の仕方から、お茶の出し方など様々な事を教えて下さいました。

1泊2日だけでしたが、社会人として沢山の事を知ることができました。私にとってマナー研修はとても充実した2日間でした。

今回学んだ事をこれからのお仕事に活かして頑張りたいと思います。

## 今後のTKC出版主催 研修開催日

## 『自分再発見研修』

本研修は、3日間の基本トレーニング等を通して自分自身の長所を再確認し、プラス発想を培い、仕事への意欲を高めていただく、プログラムです。

コース名	開催日
初夏コース	6月 6日(水) ~ 8日(金)
夏コース	7月 11日(水) ~ 13日(金)
秋コース	10月 10日(水) ~ 12日(金)
冬コース	11月 14日(水) ~ 16日(金)

会場：TKC出版研修センター

千葉県長生郡長南町給田 497-1 Tel.0475-47-1207

交 通：JR外房線「茂原」駅下車・車15分

(東京より 1 時間 15 分)

参加費：1人 81,900円 ★内 20,000円当事務所補助

※資料・食事代・宿泊費含む

定 員：各 16 名（申込順締切） お申し込みは当事務所まで

## タイムテーブル

- オリエンテーション
  - 基本行動トレーニング
  - 基本行動の解説
  - 表現力トレーニング
  - 発声、発音トレーニング

一一四

- 座禅
  - 発声、発音トレーニング
  - 20キロウォーキング
  - ウォーキング報告会

最終日

- スピーチ
  - 総復習とクロージング

入場料も無料ですので、皆様是非お越し下さい。  
あくまでアマチュアですので、  
プロのようにはいきませんが、  
吹く人も聞く人も、楽しめる  
ような演奏会にしたいと思い  
ます。

演奏会の日時は「2007年9月23日 お昼から」  
場所は「川口リリア 音楽ホール」です。

毎週日曜日は、学生気分を味わっています。  
理由は、中学校時代の部活の続きです。  
中学の部活でやっていたクラリネットを購入して、川口交響吹奏楽団へと入団しました。  
名前は格好良いですが、中身はとても気楽な楽団です。

# 『週末学生氣分』

岡部由里

## 失敗者になる三十一の原因 その二

**九、忍耐力の欠如** 我々は普通、すばらしい「創始者」であり、哀れな

「完了者」である場合が多い。我々はちょっとでも失敗すると、それだけで希望を失つてしまいがちである。

忍耐ほど大切なものはないのだ。忍耐という言葉をモットーにしている人には、やがて「貧乏神」の方が根負けをして、ついには成功できるのだ。失敗は決して忍耐に勝つことはできないのである。

**十、排他的な性格** 誰にでもケチをつけて親友までも失つてしまうよう

な人間に成功の望みは少ないものだ。成功するためには他人の協力が得られなければならないが、排他的な性格の持ち主は決して人々の協力を得ることはできないのである。

**十一、性欲の過多** セックスのエネルギーは、人々を行動に駆り立てる

刺激の中で最も影響力の強いものである。また人間の感情の中でも最も波の高いものである。だからこれを上手に利用して肉体的な満足以外の目的にそのエネルギーを活用しなければならない。とくに女性はその性から解放されるべきである。

**十二、バクチ好き** 賭け事が好きなために、いかに多くの人間がその失敗に泣いているのかしれないのだ。一九二九年のウォール街の大暴落の時も何百万人という人々が株式マージンでその人生を滅ぼしたのである。

**十三、決断力の欠如** 成功者は素早く決断を下し、よほどのことがなければそれを変更しない。だが、敗北者はゆっくりと決断を下し、ちょっとしたことでそれを変更する。優柔不断と遅延とは双児の悪魔のようなものであり、そのどちらか一方を抱いている人は必ず他方も抱いているものである。この双児の悪魔に取り憑かれてしまわないうちに早く葬つてしまふべきである。

**十四、六つの恐怖** この恐怖に関する後で詳しく説明されているの

で、しっかりと読んでおいて頂きたい。

**十五、配偶者選びの間違い** 人が失敗する一番多い原因がこれである。

結婚はあらゆる人間関係のうちでその親密度が最も濃厚である。だから夫婦のどちらかに問題があれば、必ず両者とも失敗すると言つても過言ではなかろう。結婚の失敗は最もみじめであり、不幸であり、絶望的である。

**十六、過度の用心** チャンスをうまくつかめない人は、他人の残り物で我慢しなければならない。つまり、過度の用心は不用心と同じほど悪く、どちらも避けるべき両極端なのである。人生は様々なチャンスで満たされているのだ。

**十七、仲間選びの間違い** 事業で失敗する原因のうち、最もよく見られるのがこの誤りである。自分の能力を最大限に發揮するためには、ヤル気と知性のある成功者と仲間にならなければならない。仕事で競い合えるような仲間こそ選ぶべきである。ヤル気のない仲間を選んだばかりに破滅してゆく人は少なくないのだ。

**十八、迷信と偏見** 迷信は一種の恐怖の現れであり、無知の証明である。成功する人間は根拠のないものを恐れたりはしない。

**十九、仕事選びの間違い** たとえいくら努力しても、その仕事が嫌いであれば決して成功することはできない。だから最も重要なことは、自分自身の全身全魂を捧げる」とのできる仕事を選ぶことである。

**二十、集中力の不足** 浮気心や面白半分で何でも手を出すような者は、結局、何一つとしても本物をもつことができない。人生の最終目標を一つに絞って、集中的に努力のできる人間になることが大切である。